

団報 八幡平市スポーツ少年団

発行日：令和6年2月25日 発行責任者：八幡平市スポーツ少年団 本部長 小野 永喜

今シーズンの活動内容と課題

西根第一クラブスポーツ少年団

齊藤 銀河

僕たち西根第一中学校野球部はシニアの二人を含め、現在12名の部員がいます。夏の大会までは西根中学校との連合で活動していました。新人戦からは単独での活動が始まり、怪我人が出るとすぐに人数が足りなくなります。前の試合では、相手チームから二人かりて、なんとか試合をすることができました。人数が少ないため、今年から初めて野球をする部員にキャッチャーやサード、レフトをやらせてもらったりしています。ポジションが固定されているチームも多いですが、僕たちは監督と話し合いながらピッチャーやキャッチャー、内野外野のいろいろなポジションを経験し、試しています。そのため各ポジションの動きが知ることができ、野球全体の動きを把握することができます。

そしてチームの課題は声出しです。ピンチなど、悪い状況になってしまうと声が出なくなってしまう。そんな時でも監督は大きな声を出し、チームを盛り上げてくれます。なので、監督のようにどんなにエラーしても、打てなくても、声をかけ、皆でチームを盛り上げてどんな時でも明るく楽しい野球部を目指していきたいと思えます。



一年間をふり返って

安代中学校スキースポーツ少年団

川又 倫

僕たち安代中学校スキー部は、クロカン4人、アルペン1人の計5人で活動しています。

今シーズン、私たちスキー部は、男女ともに、東北、全国大会出場を目標に練習しています。

夏の間は常設部の活動があり、なかなか合流できませんでしたが、先月からそろって活動しています。先月まではサーキットや上体補強など基礎練習を中心に

行っていました。「何をやるかではなく、どのようにするか」を常に考えて練習していました。今月に入ってから雪上練習も始まり、本格的にシーズンに入りスイッチを入れ替えて練習に励んでいます。

クロカン陣は、全国大会出場を目標にライバルの存在を常に意識しながら練習しています。

アルペン陣は、学年を問わず、自分の滑りで滑りきり、入賞を目指して練習しています。

今、私たち安代中学校スキー部は、感謝の気持ちを忘れず、男女総合優勝を目指して日々頑張っています。応援よろしくお願いします。



感謝

岩鷲ベースボールクラブスポーツ少年団

宇部 雅希

僕たちは今季、田頭野球スポ少さんと、寺田野球スポ少さんと一緒に、連合チームとして活動しました。

昨年は、人数が足りずに、大会に参加できないこともありましたが、今季は、たくさんの大会や試合に参加できて、仲間の大切さ、野球ができることに感謝しながらすごしました。

岩鷲ベースボールクラブの三つのスローガンである「道具を大切に使う」、「あいさつをする」、「感謝の気持ち」は、これからも大切にしたいと思います。

今まで、僕たちを指導し、支えて下さった監督、コーチ、いつも応援してくれる家族、一緒に頑張った仲間へ感謝します。

ありがとうございました。



一年を振り返って
寺田相撲スポーツ少年団

武田 昇馬

僕たち寺田スポーツ少年団の中学生は1年生2人と3年生3人の5人で活動してきました。普段は小学生といっしょに練習しています。6月の県中総体では、団体優勝、個人戦も1位から3位までに入ることができました。8月に行われた東北中学校相撲大会では昨年決勝で負けてしまった鷹巣中学校を破って団体優勝することができました。個人でも1年生は優勝、3年生は2人がベスト8という成績を残すことができました。全中では、団体、個人共にベスト32でした。練習の成果を十分に発揮し、東北や全国で成績を残すことができました。

これからも一人ひとりが大会でいい結果を残せるように練習に励んでいきたいと思ひます。

最後に、相撲を取れる環境があること、指導して下さる監督、コーチの方々、いつも応援して下さる保護者の方々、地域の方々に感謝の気持ちを持って日々稽古に励んでいきたいです。



今年度の活動を振り返って
西根一中 ST スポーツ少年団

高橋 あかり

私達西根一中ソフトテニスクラブは、コーチなどからのご指導のもと大会で成果を残せるように日々の練習に励んでいます。

6月の地区中総体では、男子は団体2位、女子は個人、団体ともに入賞することができました。男子も女子も昨年より順位を上げることができました。

学年別大会や地区新人戦では1年生も2年生も県大会に出場することができ、練習の成果を十分に発揮することができたと思ひます。

これからも一人一人が大会に向けて高い意識を持って毎日の練習に励み、さらなる結果を残せるクラブにしていければと思ひています。

指導して下さったコーチの方々、送迎してくれた親に感謝し、これからも普段の練習から意識してテニスを楽しんでいきたいと思ひます。



今シーズンの目標！！
松尾ジュニアスキースポーツ少年団

佐々木 詩

皆さん、おはようございます。松尾ジュニアスキースポーツ少年団の大更小学校5年佐々木詩です。

今の団員は、全員昨年からはじめた初心者で、本当の基礎練習からスタートしました。コーチにコツを教えてもらいながら、上達し大会に出ることができました。最初は不安だったけれど、何回も大会に出るうちに、楽しいと思えるようになり、目標を持つことができるまでになりました。目標を持てたことで、こうした方がいいのかなという風に自分と向き合って考え、意識して、練習をするたびに知ることが増えました。大会にも生かすことができました。

スキーは冬の競技なので夏の間は各自トレーニング

に励みました。私は水泳、マラソン、インラインスケートなどで基礎体力をつけてきました。

雪が降りスキー場がオープンしたら、休日は午前9時から午後3時までの練習が始まります。下倉スキー場を練習場所とし、練習内容はポールトレーニングです。個人競技ではありますが、コース整備や、ポール準備は全員で協力して行います。練習内容は、滑れるようになったのでポールトレーニングがメインです。大会では、チーム全員の入賞を目指し、一つ一つ悔いなく終わりたいです。そのために日々練習を頑張ります。応援よろしくをお願いします。



一年間をふり返って

八幡平市空手道スポーツ少年団

柴崎 敦雅

ぼくは、空手道スポーツ少年団で空手をやっているとよかったです。理由は三つあります。

一つ目は、礼儀を学べたことです。はじめた時は、礼儀がまったくありませんでしたが1年、2年、3年と空手をやっていくうちに戦う相手や道場のみんなへ礼をすることの意味がだんだんと分かって、一つ一つの礼やあいさつが大切だと感じました。

二つ目は、道場の先生方や他の生徒と空手をたくさんやれたことです。いつもの練習では、みんな声や気迫をいっしょうけんめい出しています。そして先生方のおしえ方はとても分かりやすく、やさしくおしえてくださいます。なのでぼくは、いつも楽しく空手の練習ができてとても幸せです。

三つ目は、黒帯をとれたことです。ぼくは黒帯をとるのを最初の目標としてがんばってきました。時にはおこられていたり、大会で負けて悔し涙をながしていました。でも練習でちょっとでもほめられるとうれしくなってもっともっとうまくなろうと練習をいっぱいしました。道場のみんなといままでお世話になった方々のおかげで黒帯がとれました。お父さんやお母さん、先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからもぼくは空手を大人になってもやりつづけて、全国大会でも勝てるようなすごい選手になれるようがんばります。



活動を振り返って

西中 ST スポーツ少年団

遠藤 悠歩

今年4月の結団式で「県大会出場の切符をつかみとりたい」と決意表明をしてから、私たちは日々、一生懸命練習に励んできました。時には自分たちの思うようなプレーができずに練習や試合で自信をなくしてしまうようなこともありました。気持ちを立て直して目標を目指しました。

少年団として初めて迎えた地区中総体は、団員一丸となって粘り強くプレーをし、惜しくも県大会出場とはなりませんでしたが、団体戦で3位になり、団として初めての表彰となりました。苦しい状況でも、決して諦めずに前を向いてプレーし続けた結果だと思います。団員みんなが、勝つことの喜びを感じた瞬間でした。

また、地区新人戦では、個人戦で2年生が見事に県大会出場を果たし、ベスト16の成績を残すことができました。団にとっても、今後の糧となる嬉しい結果です。

試合において勝利を収めることはもちろん重要ですが、大切なのは一丸となって団員が成長すること、困難を乗り越える力を身につけることです。その大切さを教えてくださったコーチの方々や顧問の先生、また、いつもそばで応援してくれた家族に感謝の気持ちを忘れずに、これからも更に高みを目指して成長できるように頑張っていきます。



今季の流れ

Dig. Max 八幡平バレーボールスポーツ少年団

高橋 悠月

4月、新しく1年生も入団し、12人でスタートしました。練習は、月曜日と水曜日の6時からで、土曜日の練習は午前中にやります。練習内容は、みんなで声を出しながらウォーミングアップをし、その後サーブやサーブカット、スパイク練習などの基礎練習を基礎練習をします。途中休憩には、お菓子やアイスをごちそうしてくれてすごくおいしく感じます。今年は6月に、陸前高田で岩手県大会、8月に二戸で小中学生交流大会、11月に奥州市胆沢で、育成大会に参加することができました。大会で力を発揮できず、悔し涙をながしたこともありましたが、二戸の大会では一位をとることができて、うれしかったです。今は、新たに3人仲間が増え15人になりました。来年の3月に、二戸で卒業大会があるので、みんなで力を合わせてがんばりたいです。



一年を振り返って

八幡平ラグビースポーツ少年団

岩崎 絆花

私達は毎週水曜日大更小学校で6時から7時半まで団員25名で練習しています。

今年の各自の目標を達成できるようにみんな一生懸命練習に取り組んでいます。

今年は新しい仲間が沢山加わりスポ少内の雰囲気も賑やかになりみんな楽しく練習に取り組んでいます。

今年はコロナウイルスも落ち着いてたくさんの大会に出ることができました。

日詰小学校150周年記念大会に招待され、フレンドリーグでは、4・5年生チームと、2年生チームが3位決定戦で戦いました。

2年生チームは負けてしまいましたが、2年生も4・5年生チームもその大会を機にとても成長していました。

チャンピオンリーグでは、あまり良い結果を出すことはできなかったけれども、たくさんを学ぶことができました。試合終了後に、相手のチームのコーチの方々に、「八幡平成長したね」や、「八幡平上手になった

ね」と、ほめてもらい自分たちの成長を感じました。

12月17日には一年で一番大きな大会があります。それに向けて残り少ない練習に一生懸命取り組みたいと思います。

そして、それまでの自分たちの練習の成果を出し、いい結果が出せるように頑張ります。



一年のふり返り

松尾野球スポーツ少年団

高橋 慶悟

今年は団員25名と多い人数でスタートしました。今年は、県大会ベスト4を目指して練習をがんばってきました。ぼく達は、マクドナルドトーナメントと、もりしんカップという県大会に出場しました。マックでは、初戦に、エラーなしで、打線もうまくつながり、コールドゲームで勝ちました。次の試合は、タイブレークにもなる激闘を制しましたが、次の試合で負けてしまいベスト8で終わりました。

次のもりしんでは、ピッチャーも好調で、打線もよかったので、なんとかベスト4に入れました。しかし準決勝で、最終回に6点取られ逆転負けしてしまいました。最後の集中力が欠けてしまい、負けてすごくくやしかったです。今年は、コロナも減り制限なくプレーできて本当にうれしかったし、目標を達成することができました。

来年チームには、ぼく達が行きかけた、決勝へと進んでほしいです。そして試合だけでなく、今年は争うことが多かったのもので、キャプテンを中心にやってほしいです。そして、チームのモットー、あいさつ・礼儀・思いやりをわすれずにがんばってほしいです。



1年をふり返って

寺田野球スポーツ少年団

須崎 蒼紫

今年は、田頭野球スポーツ少年団と岩鷲ベースボールクラブと寺田野球スポーツ少年団の連合チームでの活動でした。チーム目標を『全員野球』とし練習してきました。試合では悔しい思いをする事が多かったです。でも、出来なかった事が出来るようになったりと日々の練習の大切さを知りました。勝った時は、自分達よりもお父さんお母さんが盛り上がってくれ、それがとてもうれしかったです。最後まで、諦めないで『全員野球』出来たんだと思います。

最後に指導してくれる監督・コーチ、応援してくれる家族、大好きな野球が出来る環境全てに感謝します。ありがとうございました。

来年度からは八幡平 JBC として 19 人でスタートします。みなさんよろしくお祈りします。



スポ少活動で学んだこと

田頭バレーボールスポーツ少年団

森 陽菜

私達、田頭バレーボールスポーツ少年団の活動は、平日3回の練習と、土日は練習試合や大会があります。今年の団員は、1年生から5年生までの九人です。

私は1年生から入団し、今年はキャプテンとして活動してきました。みんなをまとめるには、どう声をかければよいか、わからないことが多く、うまくいかないことばかりでしたが、かんとくやコーチ、チームのみんな、家族の支えがあって、今日まで活動することができました。

今年は八つの大会に出場しました。大会で学んだことは、仲間を信じ、協力し合うことの大切さ、だれかに言われてからではなく、自分から進んで取り組まなければならないということです。そして、スポーツ活動は個人の努力だけでは成り立たないということです。

今後も感謝の気持ちを忘れず、これまでまなんだことを活かして、バレーボールを続けていきたいと思っています。



ソフトテニスを通して

安代ソフトテニススポーツ少年団

安保 和

安代ソフトテニススポーツ少年団は、現在男子5名、女子9名で活動しています。今の時期は、活動場所を屋内に切り替え、一生懸命練習に励んでいます。

中総体では、男子1ペアが、新人戦では、女子1ペアが県大会に出場しました。学年別大会では、男子2ペア、女子1ペアが地区大会を通過し、岩手カップに出場することができました。

3年生が引退し、まもなく半年になります。今は2年生を中心とした活動を行っています。1年生の頃から、先輩たちの姿を見てきて、技術面だけではなく、精神力やチームのまとめ方なども学びました。

試合で最高のパフォーマンス発揮するためには、日々の練習を真剣に、目的を持って行うことがとても大切なこととわかりました。一つひとつのプレーに狙いと目的を持って取り組み、試合を意識した練習を行うことで、試合でも平常心で行うことができるようになりますからです。これは、普段からコーチが私たちに話していることです。

私たちは、少ない人数ですが、練習では、声を出し、明るく、雰囲気よく、真剣に取り組んでいます。コーチが不在の時は、2年生が中心となり、自分たちでアドバイスをして練習を進めています。コーチが来てくださっている時には、技術をしっかり身につけるために、意欲的に、真剣に練習に臨んでいます。

ソフトテニスを通して、競技の面白さはもちろん、チームワークの大切さや、礼儀などがみについたと思います。また、できなかったことができるようになったり、狙ったところに打てるようになったり、ペアと息の合ったプレーができたりしたときは、とても嬉しいし、もっとうまくなりたいと思います。

来年は、地区中総体で優勝し、県大会に出場します。そのために、夏に向けて、基礎練習も含めた練習を冬の間も積み重ね、悔いのない中総体にしたいです。

コーチ、顧問の先生、保護者の皆様、これからもどうぞよろしくお祈りいたします。



今年を振り返って

田頭野球スポーツ少年団

嶺岸 龍之介

ぼくたち田頭野球スポーツ少年団は、今年度から寺田野球スポーツ少年団と岩鷲ベースボールクラブと3チームの連合チームとして活動を始めました。

連合チームになってからは、人数も増えて低学年チームと高学年チームで分かれて練習することができるようになったので、低学年はさらに野球が楽しめるようになったし、高学年は今まで以上に全力でやるできるようになりました。

うまくなるために教えてもらったことは、キャッチボールをする時は相手の胸の辺りに投げるように意識すること、バッティングではボールに合わせすぎずに自分の振りをする、ノックでは、後ろにボールをそらさないように体で止めるのをみんなで声を掛け合いながら練習をやっていました。

けどぼくたち連合チームは、春と夏の試合では勝てず悔しい思いばかりをしていました。けれど、秋の試合では、勝つこともできるようになりとてもうれしかったです。

そしてそのぼくたちを送り迎えして下さったお父さんお母さん、ぼくたちにご指導して下さった、監督やコーチのみなさん本当にありがとうございました。



今年度の成果とこれからについて

安代野球スポーツ少年団

齊藤 陸斗

安代野球スポーツ少年団は、「感謝の心を大事にします」、「勝ちにこだわります」、「野球を通して人間性を磨きます」の三つの文言を大切に、日々の練習に取り組んでいます。今年、四月の全国軟式野球大会地区予選では、初戦敗退、六月の地区中学校総合体育大会では、3位入賞、七月の全国軟式野球大会新人戦では、西根中学校と合同で出場し、県大会出場でした。安代中単独で活動していた時は、県大会出場は叶いませんでしたが、3位入賞出来て嬉しかったです。

西根中学校と合同で活動し始めてからは、練習試合でも勝つことができ、県大会に出場することが出来ました。ですが守備のミスや声かけなど簡単なミスが目立つことがありました。合同チームになってまだ、技術面などで足りないものが多いので、今年の冬で改善できるよう頑張ります。

今年の冬は、チーム全体や個々で多くの課題を持っているので、確実に少しずつ改善していきます。今年の中総体や新人戦などで味わった悔しさを忘れず来年の春までにチームが大きく成長できるよう頑張ります。



僕と剣道

八幡平市剣道スポーツ少年団

畑 誠

僕が剣道を始めようと思ったのは、楽しそうだなと思ったからです。

剣道を始めたいとお父さんに言ったとき、お父さんが小学校から高校まで剣道をやっていたことを知りました。

お父さんに「剣道は、礼に始まり、礼に終わる」と教えてもらい、礼儀を大切にするのだと知りました。

剣道を始めてから、先生や一緒にけい古している友達のお父さん、お母さんからもアドバイスをいただきけい古を楽しくできました。

試合では、まだ勝ったことはないけど試合に出るのは

楽しみです。試合では強い人や、色々な攻め方をする人がいてそれを知ることができるからワクワクします。

試合で勝つことが目標でけい古をがんばっています。僕は、剣道のけい古をするのがすごく楽しいです。

先生に「楽しむ剣道」を教えていただいて常に楽しみながらけい古をしています。

中学生になっても剣道が続けたいです。



六年間を通して

松尾バレーボールスポーツ少年団

福田 れい

私は、姉が入団して練習や大会と一緒にいくうちに自分も試合に出てみたいと思い、1年生の9月に入団しました。入った当初、6年生の先輩たちが明るく、優しく、いつも私の面どうをみてくれて、たくさんのことを教えてくれました。私は6年生になり、キャプテンになりました。自分も先輩たちのような人になりたいと思いました。でも、チームをまとめることは思ったよりも難しく、何度もお母さんに相談しました。松尾バレーボールスポーツ少年団は、『挨拶、返事、整理整頓』を大事にしています。最初はみんなバラバラだったけど、私が伝えることで少しずつですがよくなってきたと思います。コロナでできなかった応援も練習してみんなで大きな声でできるようになりました。最後の育成大会では、チームのみんなが一つにまとめることができうれしかったです。練習以外にも、育成会の皆さんが計画してくれたイベントが楽しくて、その中でもバレーボール教室や体験会が大好きでした。今年は十人の入団があり、今現在16人で活動しています。これからもたくさんの子が参加してくれて、バレーボールを知って一緒に活動できたらいいなと思います。ただ、同い年の子がいなくて、スポ少でも小学校でも6年生女子一人です。それでも、がんばれたのは、私を支えてくれたここにいる仲間がいたからです。

12月から新キャプテンが決まり、新体制に変わります。まだできていないことなどをしっかりと教えて、みんなをサポートしていきたいです。監督、コーチ、スポ少の仲間、育成会、お父さん、お母さん、本当にありがとう

ございました。中学校でもバレーボールを続けます。そして、同い年の友達と一緒にバレーボールがしたいです。



一年をふりかえって

田山スポーツ少年団

山本 朱樹

田山スポーツ少年団は、今年度、13人で活動をスタートしました。今年は、夏の暑さや、感染症などで、練習が思うようにいかないこともありましたが、一生けん命活動にはげんできました。春から秋の活動である総合運動部の活動内容としては、今年度から、けん道や空手などが取り入れられ、よりさまざまな運動にふれることができました。

大会は、今年度もさまざまな大会に出場しました。八幡平市スポーツ少年団駅伝まつりでは昨年度に引き続き、入賞することができました。児童数がへり、団員の人数も昨年度よりへってしまい、一チームしか出場できませんでしたが、その分、チーム一丸となって出場する選手はもちろん、出場しない選手も一生けん命応援したり、サポートしたりして、チームの士気を上げました。人数が少ないなりに、一人一人が自分の力をはっきりと、個人的にもチーム全体としても精いっぱい活動することができたと思います。

冬からは、スキー部の活動が始まります。アルペン班、クロカン班、ジャンプ班にそれぞれ分かれて活動していきます。活動の成果を大会で発揮できるようにがんばっていききたいと思います。



成果が出た一年

安代スポーツ少年団

佐藤 友司

ぼくたち安代スピリッツスポーツ少年団は、去年6年生がいなくて負けが多くて、悔しいシーズンでした。ですが今年は県大会ベスト 16 以上をめざして皆がんばってきました。今年は夢の県大会に出場できたし一回じゃなく二回も行くことができました。一回目の県大会では北上の飛勢というチームとやって初めての県大会でかんとくやコーチもみんなきんちょうや不安があつて思うようにみんなプレーができなかった中ぼくがピッチャーをしているときサードに打球がいてサードをやっているりゅうじくんの足に当たってぼくのところまでボールがきてアウトにしたのがおもしろくてチームのふいんきが良くなりました。ですが相手のピッチャーにおさえられてチームは大敗してしまいました。このけいけんを生かして次の県大会も出場すると心にきめてがんばりました。

二回目の県大会も出場することができ次は江刺東ジュニアとやりました。結果は勝ってベスト 16 までいきました。これは、みんなで力を合わせてやりぬいた結果だと思いました。みんなで喜びあえたことがほとんどなかったの自分的にはとてもうれしかったです。この成果をもとに来年はベスト 8 を目指すといっていたので冬の期間少しでもみんなが成長できるように手助けをしてこれからに期待したいです。



6年間を振り返って

西根ミニバスケットボールスポーツ少年団

藤澤 涼矢

僕は、1年生の時からバスケットを始めました。兄がやっているのを見て、バスケットに興味を持ちました。ルールもわからない僕にチームのみんなは優しく教えてくれました。どんどんバスケットをプレーすることが楽しくなりました。

学年が上がると試合にも出れるようになり、自分から攻めることやいろいろな技ができるようになりました。コロナの影響もあり、練習ができない期間や試合が減ったり、練習時間、日数も減り、チームとして練習が少なくなりました。その分スポ少がない時は兄に教わりながら自主練習を頑張りました。

4年生になるまで下の学年、同学年が入ってこない、目標にしていた先輩たちがやめていくこともあり、寂しい思いや辛いこともたくさんありました。何度も辞めようと思いましたが、今一緒にやっている仲間と最後まで

やると決め6年生ではキャプテンになりました。チームをまとめることがとても大変で悩んだりすることもあったけど最後まで頑張ろうと決めていました。どんどんチームがまとまりできなかったチームプレーができるようになりチームワークもよくなりました。大会や練習試合ではあまり勝つことができませんでした。6年生の最後の大会では負けたくないと思いチームで練習を強化してきましたが、4チーム中3位と悔しい試合でした。「ミニバスでは挨拶、基礎を学んで中学校で試合に勝つことが大事だ」という言葉を尊敬しているコーチに言われました。これから中学校で勝てるようにもっと練習を頑張っていこうと思います。

6年間色々あったけど、チームのみんな、支えてくれた父母の方々、時には優しく厳しく指導してくれた指導者には感謝しかありません。これからは後輩に目標を作り頑張っていってほしいです。



スポ少の思い出

アレグレーゴ八幡平サッカースポーツ少年団

佐々木 颯馬

ぼくは、4年生からサッカーをやっています。小学校でみんなとやって楽しくてもっと上手になりたいと思って入団しました。

他の学校の知らない子と試合をしてやっぱり楽しいなと思いました。ぼくは、ミットフィルダーをしています。ミットフィルダーはオフェンスとディフェンス両方

をやるポジションなのでいっぱい走る事と周りを見る事が大切です。だからぼくは、練習中にだれよりも走るようにする事と、味方から見える場所に動いてボールをもらえるようにする事を大切にしています。

6年生最後の大会の全日本 U-12 サッカー選手権が9月に行われました。結果は一回戦敗退でした。負けてくやしかったです。けどぼくは、このアレグレイゴ八幡平に入って昔よりもとても上手になったし、チームメイトといっしょに過ごした時間は最高の思い出になりました。ぼくは、これからもサッカーをがんばっていきます。かんとく、コーチ、保護者のみなさん、チームメイト、本当にありがとうございました。



柔道と僕

寺田柔道スポーツ少年団

田村 一志

僕は、小学校二年生の時に姉と一緒に柔道を始め仲間とふざけるのが楽しく、練習に通うようになりました。

初めての大会では、みんな強そうに見えて緊張で体が動かず、気付いたら投げられていました。練習しても試合になると上手く技に持ち込めず悔しい思いをしました。

本格的に形の練習に取り組み、僕は「受」が得意なので、演武をよりきれいに見せるためにたくさん練習をし、「取」の人と呼吸を合わせ、形の演武大会では、自分たちの演武をすることができました。

小学生と中学生合わせて13人だったチームが、今年に入り11人も増え一緒に柔道ができる仲間が増えてうれしい反面、こんなに弱い僕がチームのキャプテンでいいのかとても不安でしたが、沢山の仲間と楽しく練習を行い、試合にも参加できました。

今年一年を振り返って、試合では、技を積極的にかけにいったが、負けてしまう事が多くとても悔しい思いをしました。しかし、寝技をたくさん練習し、相手を抑え込み勝つことができました。仲間のアドバイスを活かして勝って嬉しかったです。

たくさんの仲間や優しい指導者の方々、支えてくれた両親のおかげで柔道の楽しさを知る事ができました。これからも仲間たちと「礼に始まり、礼に終わる」の精神を大切に、柔道の技を磨いていきたいと思います。



西根ソフトテニス活動をふりかえって 西根ソフトテニススポーツ少年団

角掛 歩

ぼくたち西根ソフトテニスは、団員6名、夜7時から9時まで週一回の練習で活動してきました。自分にとっては、最後のスポ少生活なので、どんなことにもあきらめない気持ちでがんばることを目標にしてきました。大会に出るためにはコーチから、「ダブルフォルトしたら大会に出せないぞ」と、言われその言葉に向かって練習をしてきました。夏の大会では、相手のサーブやレシーブが取れず苦しみました。結果は負けてしまいくやしき思いをしました。

九月の「学年別大会」では、サーブもしっかり入り、レシーブもしっかり取る事が出来て、5ゲーム目まで行きました。だけど、3対2で負けてしまいました。とてもくやしきけどいい経験が出来たと思いました。

テニスの楽しさや技術を教えてくれたコーチに感謝しています。

ぼくたち西根ソフトテニスは、人数が少ないけど、とてもにぎやかで楽しく元気に活動しています。

来年もどんな場面でもあきらめない気持ちで目標に向かいながらプレーをしていけるようにがんばりたいです。



一年を振り返って

西根第一バスケットボールスポーツ少年団

伊藤 和

私たち西根第一バスケットボールスポーツ少年団は、一年生2人、二年生1人、三年生4人の7人で一年間活動してきました。

私たちは、個人の技術力の向上や体力をつけるための練習に取り組んできました。きつい練習もありましたが、人数が少ないなりに支えあって、一人ひとり成長することができました。また、コミュニケーションをとることを大切にし、声を出し仲良く活動することができました。

地区中総体では、葛巻との合同チームで参加することになりました。

合同練習は、週に一度程度しかできなかったのも、最初はお互いに遠慮していました。しかし、何回か練習をしていくうちに仲良くなり、これまでよりゲームで良い連携がとれるようになりました。

中総体本番では、負けてしまいましたが全員が力を出し切ることができ、良い試合をすることができました。

三年生が引退し、人数が二年生以下3人とさらに少なくなりました。練習では、改めてドリブルやシュートの基礎の練習を中心に実力を高めています。また、西根中学校との合同練習では、チームプレーなど普段の練習ではできない練習も頑張っています。人数が少なくても、個人が目標を持ち、一回の練習を大切に成長できるように頑張っていきたいです。

私たちの活動は、たくさんの人に支えられています。たった3人の団員でもしっかり教えてくださる指導者の皆さん、練習場所の確保や送迎などいつも活動を応援して下さる保護者の皆さんなど、私たちの活動にかかわる方々に感謝の気持ちを忘れず、楽しく活動し成長していきたいです。

一年を振り返って

松尾クロスカントリースキースポーツ少年団

たてやなぎ きげん

ぼくは、ことしはじめてクロスカントリースキーをやりました。クロスカントリースキーのむずかしいところは、のぼったり、くだってきたときに、ころんできるとおきあがるのがむずかしいです。たのしいところは、くだりころばないですべるとたのしいです。もっともっと、れんしゅうをして、じょうずにすべれるようになりたいです。じょうずにすべれるようになったら、たいかいにでて1いをとりたいです。

おおきくなったら、オリンピックにでたいです。



私の挑戦

八幡平トライアスロンスポーツ少年団

阿部 愛凜

2年生の頃、私は自転車に乗り始めわくわくしたのを覚えています。自転車に乗りたいという気持ちで始めたトライアスロンは思ったよりもずーっときびしく45°くらいの急な上り坂や、細くでこぼこした道など色々な所を走り豆ができてあきらめないうで続ければやりとげられるという事を学びました。

6年生になった今思う事はこの「楽しい」という気持ちで続けたら走れるようになり泳げるようになりました。この気持ちをこれからも忘れずに今年新しい挑戦をします。



《編集後記》

この団報は、十二月十日八幡平市スポーツ少年団活動発表会で発表する作文をまとめたものです。今年には感染症の制限も解除され、以前のように大いに活動されたと思います。終わりに、寄稿いただきました皆さんに心より感謝いたします。